

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム ひがん

目標達成計画

作成日：令和 4年 1月 31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	2	コロナ禍だからこそ、終焉した時に、いきなり関係を作る事が出来ないのでは、今から、その準備をしては、如何でしょうか？	新型コロナウイルス感染症終息後に向けた地域交流準備を行う。	地域交流の一環として、広報誌を通じて感染対策や、防災関係の情報を提供する等、外部接触が取れない中でも、地域の繋がりを絶たないように努める。また、コロナ感染状況が緩和された時に取り組める計画を自治会に提示しておく等、自分達が地域において何が出来るかを考え、準備に努める。 6ヶ月
2	7	組織だけに、難しいであろうが、本音で語れる場づくりをして、意見が反映出来る様な形を模索しては如何でしょうか？	施設職員が気兼ねなく意見を出し合える環境作りを行う。	管理者会等、自分達の意見が言える場で、本音を語る機会を作り実施していく事と、出た意見にたいして反映できることは反映する。出来ない事なら、理由を説明する等、話し合った事に対して必ず形に残すように努めていく。また、その流れを職員間でも出来るように会議などに取り入れていく。 3ヶ月
3				ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。